

I 日本史B問題

A

(1) 太占	(2) 脱穀
(3) 高床倉庫	
(4) (あ) 光武帝	(い) 奴国
(5) 百濟	(6) 平城京

B

(7) 渡辺崋山	(8) 徳川家慶
(9) 徳川斉昭	(10) 水野忠邦
(11) 御用金	(12) 上知令
(13) 老中を罷免された	

C

(14) 壬午軍乱	(15) 日朝修好条規
(16) 徴兵令	(17) 北海道
(18) 5	(19) 松方財政

Ⅱ 日本史B問題

ア 蓄銭叙位	イ 布
ウ 行基	エ 銅
オ 仮名文字	カ 藤原道長
キ 官物	ク 国免
ケ 肥前	コ 酒井田柿右衛門
サ 隠元隆琦	シ 文人
ス 本草	セ 稻生若水
ソ 石田梅岩	タ 京都
チ 大学令	ツ 東大新人会
テ 台湾	ト 奄美

Ⅲ 日本史B問題

A

ア 蔵人頭	イ 清和	ウ 応天門
エ 摂政		
(1) 悲田院	施薬院	(2) 胆沢城
(3) 勸学院	(4) 金剛峰寺	(5) 在原業平

B

オ 連署	カ 院評定衆	キ 綸旨
(6) 引付	(7) 陳状	
(8) 土地を荘園領主と地頭とで分けること	(9) 高麗	
(10) 平頼綱	(11) 『建武年間記』	(12) 政所

C

ク 村請制	ケ 為替	
(13) 名護屋城	(14) (あ) 京枿	(い) 二石一斗
(15) 青蓮院流	(16) 貝原益軒	(17) 樽廻船
(18) 干鰯	(19) 上方で売却した蔵物の売上金	

IV 日本史B問題

(1)

足利尊氏が夢窓疎石に帰依し、義満が五山・十刹の制を整備するなど、臨済宗の五山派は室町幕府の保護と統制を受けるとともに、五山僧は幕府の政治・外交顧問として活躍した。一方で、五山派に属さない禅宗諸派の林下も各地で活動した。禅宗の興隆を背景に、漢詩文などの五山文学や水墨画などの禅宗文化が発展し、やがて書院造や枯山水の庭園、侘茶など禅の精神を取り入れた文化も形成され、これらは後の日本的文化の基礎となった。

(200字)

(2)

盧溝橋事件の勃発後、近衛内閣は宣戦布告のないまま戦線を拡大し、国民政府の首都南京を占領した。重慶に拠点に移した国民政府が抗戦を続けるなか、政府は「国民政府を対手とせず」と声明して和平を打ち切り、「東亜新秩序」建設を戦争目的として掲げて親日政権樹立を図った。一方、国民に戦争協力を促す国民精神総動員運動を展開するとともに、国家総動員法により人的・物的資源の統制を強化するなど、総力戦体制の構築を急いだ。

(200字)